

発議第 9 号

オスプレイの運行を即時中止し、新たな配備計画を撤回することを求める意見書

上記の意見書を別紙のとおり提出します。

平成 27 年 6 月 10 日

提 出 者

八雲町議会議員 横 田 喜世志

賛 成 者

八雲町議会議員 佐 藤 智 子

八雲町議会議員 三 澤 公 雄

八雲町議会議長 能登谷 正 人 様

## オスプレイの運行を即時中止し、新たな配備計画を撤回することを求める意見書

米海兵隊の垂直離着陸機MV22 オスプレイが、ハワイでの訓練中に着陸失敗・機体炎上、乗組員が死亡・21人（内1人死亡）が病院に搬送されるという大惨事を起こした。オスプレイは不安定な機体構造のため、開発段階から事故が相次ぎ、今回の事故で乗組員の死者は40人に達した（空軍所属のCV22を含む）。

事故機と同型のオスプレイが配備されている沖縄県の翁長雄志（おながたけし）知事が事故原因究明までの飛行停止を求めたにもかかわらず、日米両政府は事故原因の究明を待たず、飛行を継続している。

また、日米両政府は、CV22 オスプレイを2017年から横田基地（東京都福生市（ふっさし）など）に配備する計画を発表した。CV22は特殊作戦用のもので、横田基地が特殊作戦機部隊の新たな拠点として強化されることになる。CV22の事故率はMV22の7倍近くに達するという数字もあり、人口過密な首都・東京に配備する危険は明白である。さらに2019年度以降、佐賀空港に陸上自衛隊オスプレイ17機を配備する計画もある。

札幌にも飛来したオスプレイは、日本上空での低空飛行訓練をはじめている。これまでも米軍機の低空飛行訓練による騒音に加え、「ケーブル切断」（奈良）、「早明浦（さめうら）ダム墜落」（高知）、高知沖墜落などの事故が起きており、危険増加の不安の声が自治体、住民からあがっている。

よって、道民の生命、財産および安心・安全な生活を守る立場から、オスプレイの運行を即時中止し、新たな配備計画を撤回することを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月10日

北海道二海郡八雲町議会議長 能登谷 正 人

提 出 先  
衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
防衛大臣  
外務大臣  
総務大臣